

## 「青少年のための科学の祭典2015宮崎大会」出展参加要項（案）

1. 期 日 平成27年8月7日（金）～9日（日）
2. 時 間 準備時間 8時30分 ～ 10時00分  
 展示実験 10時00分 ～ 17時00分  
 撤去等 17時00分 ～ 18時00分  
 （宮崎科学技術館の開館時間 9時00分～17時30分）  
 休憩・昼食 ※特に時間設定いたしませんので、随時お願いいたします。
3. 会 場 宮崎科学技術館（多目的ホール，科学実験教室，科学工作教室，他）
4. 出展内容 物理，化学，生物，地学，環境，エネルギー領域にかかわる展示物や演示実験。  
 工学，農学，医学分野などの科学技術にかかわる展示物や演示実験。来館者参加のための実験（本館で実施可能なもの），ワークショップなど。
5. 出展参加者 教育機関，企業，一般の団体および個人  
 （生徒・学生等の場合，担当教諭・教員等との団体での参加を原則とします。）
6. 申込方法 下記様式を，Fax，Eメール，または郵送にて，各送付先までお送り下さい。

	提出書類	提出締切日	送付先
①	出展参加申込書（様式1，様式1-2）	6月26日(金)	宮崎大学 秋山 <sup>(a)</sup>
②	展示実験の安全の手引き（様式3）	7月17日(金)	
③	消防署への届出書類（様式4）		
④	展示実験に必要な設備（様式2）	7月3日(金)	宮崎科学技術館 中武 <sup>(b)</sup>
⑤	実験解説書の原稿（様式5）		

### 「青少年のための科学の祭典2015宮崎大会」関係書類の送付先

（様式1，様式1-2，様式3，様式4）

(a) 宮崎大学教育文化学部： 秋山 博臣  
 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1  
 電話 0985-58-7506  
 FAX 0985-58-7506  
 E-mail e04102u@cc.miyazaki-u.ac.jp

（様式2，様式5）

(b) 宮崎科学技術館： 中武 享弘  
 〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2  
 電話 0985-23-2700  
 FAX 0985-23-0791  
 E-mail msc02@cosmoland.jp

※ 様式1の演示講師の枠が不足する場合は，コピーしてご記入下さい。

※ 様式1-2において，参加する生徒・学生等の氏名が確定していない場合は，人数の概算をお書き下さい。確定の後，様式1-2の追加提出をお願いします。

## (注意事項)

- ※1 出展参加申込書「様式1」がそろった時点で、出展ブース数、各ブース間の重複がないかどうか等を確認し、変更をお願いする場合は個別に連絡いたします。連絡がない場合は、当初の計画通りで「様式2, 3, 4, 5」をご提出ください。
- ※2 実験に必要な薬品や器具などは、各ブース出展者で調達してください。搬入も各自行ってください。なお、搬入が個人では困難なものや科学技術館の設備や器具を使用したい場合には、その旨、「様式2」にご記入ください。
- ※3 「様式1～4」の提出は、FAXまたは、e-メールの添付文書でも結構です。e-メールでの提出を希望される場合には、秋山宛て ([e04102u@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:e04102u@cc.miyazaki-u.ac.jp)) にメールでご連絡ください。各様式のフォーマット(MS-Word版)を添付ファイルでお送りします。
- ※4 「様式5」の実験解説書の原稿は、そのまま印刷会社に出しますので、各自、責任をもって作成し、郵送かメールの添付ファイル、または直接持参でご提出ください。
- ※5 書類の提出期限の厳守につきまして、ご協力よろしくお願いいたします。

- ※ 提出書類(様式1～5)は、以下のホームページからダウンロードできる予定です。

[http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/e04102u/sf\\_miyazaki/sanka.html](http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/e04102u/sf_miyazaki/sanka.html)

## 7. その他

### ○全般

- ・ 参加いただいた団体・個人には、出展委託料(展示実験の補助費、消耗品費、旅費、日当、食費等を含みます)として、1ブース1日あたり15,000円(委託料は平成24年度から変更いたしました)をお支払いします。別に、消耗品費として1日3,000円まで追加申請が可能です。なお、消耗品費が1日3,000円を超える場合は、領収書を添付の上ご相談下さい。**予算の範囲内で検討させていただきます。**また、ワークショップでの出展(出展委託料25,000円を予定)を希望される場合は、別途ご相談下さい。

委託料のお支払いは、9月中以降になる予定です。振り込みをもちまして、連絡に代えさせていただきますことをご了承下さい。

- ・ 所属学校長等宛の「講師派遣依頼」が必要な方は、実行委員長名で発行いたします。「様式1」の派遣依頼状の希望に○を記入してください。勤務等の形態については各所属機関で対応をお願いします。なお、勤務形態は、基本的に土日以外は「年休で参加」とお考えください。

- ・ 予約が必要なブースや整理券を配布されるブースは、その旨を「様式5」に記述し、大会中も掲示等により来場者に連絡をお願いします。

- ・ 本大会のホームページに、展示実験の標題等を掲載します。ご了承下さい。

大会ホームページ：[http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/e04102u/sf\\_miyazaki/](http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/e04102u/sf_miyazaki/)

### ○大会中

- ・ 大会中、昼食は各自でご用意ください。昼食・休憩時間は、特に設定いたしませんので随時お願いいたします。ただし、来場者のために、交替で休む等のご配慮をお願いします。
- ・ 大会中、昼食・休憩時間等で担当者が実験ブースに御不在のあいだ、来場者が実験器具等に触れたりしないように、安全の確保・危険防止のご配慮をお願いします。



展示実験の標題			
代表の講師名			
お名前 ★保険に必要ですので年齢もお書きください。 ★生徒・学生等の参加で、氏名が確定していない場合は、人数の概算をお書きの上、確定の後、追加提出して下さい。		演示講師のご連絡先  所属学校等，学年	
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年
演示講師	フリガナ	所属学校	名称
	年齢 ( )		学年

展示実験に必要な設備 (締切:平成27年7月3日(金), 提出先:宮崎科学技術館)

展示実験 の標題			
所属 (学校名等)	ご担当者名 (代表者名)		

1. 展示実験の会場は以下 (A~D) の4種類です。多目的ホールには、水道・ガスの設備がありません。ガスや水道・流し台等が必要な場合は、科学工作・科学実験教室になりますが、机の関係で4~8ブースしか使えません。できるだけ、水やガスを使わなくてすむ内容でご検討下さい。また、暗室は、用意することが困難です。

A: 多目的ホール (227.8m<sup>2</sup>)

基本スペースは、長机 (1750×450mm) 4脚, イス6脚,  
掲示用衝立 (2700×1850mm, 3つ折り可能) ※水道・ガス設備なし

B: 科学工作教室 (83.4m<sup>2</sup>)

固定式木製机 (コンセント付き 90×200mm, 直列に2脚結合) が4列  
※部屋の片側に流し台有り, ガス設備なし

C: 科学実験教室 (83.4m<sup>2</sup>)

固定式科学実験机 (コンセント・流し台付き, 90×210mm直列に2脚結合) が4列  
※部屋の片側に流し台有り, ガス設備あり

D: ワークショップ, サイエンスショー

1階展示場の仮設ステージ ※電気コンセントのみあり

ご希望の会場に丸印し, 設備の記入をお願いします。

会場	A (多目的ホール)	B (科学工作室)	C (科学実験室)	D (仮設ステージ)
机	脚	脚分	脚分	4脚
椅子	脚	脚	脚	脚
衝立	脚			2脚
電源	必要・不要	必要・不要	必要・不要	有

2. その他, 実験スペース・設備等に対するご希望等

--

展示実験の安全の手引き (締切: [平成27年7月17日\(金\)](#), 提出先: 宮崎大学)

\*各ブースでの実験・実演や使用物品の保管上の安全管理, 来館者の安全確保に関する注意点を記載してください。

展示実験 の 標題		
所属 (学校名等)	ご担当者名 (代表者名)	
展示実験の安全の手引き		

## 火気・薬品類の使用について (締切:平成27年7月17日(金), 提出先:宮崎大学)

消防署長 殿

火気・薬品類の使用について

講師(代表)名	自宅住所 〒	TEL
		FAX
勤務先(学校名)	勤務先住所 〒	TEL
		FAX

火気, 熱源, 暗室の使用状況

1. 使用する	2. 使用しない	暗室の天井の有無	有	無
※ 使用する予定の火気や熱源に○を付け, かつこ内に使用頻度, 燃料とその使用量, 数量をわかる範囲で書いて下さい。 バーナー(ラボガス) _____ 台 ( _____ ) ライター類(チャッカマンなど) _____ 個 ガスこんろ(カセットコンロ) _____ 台 ( _____ )      ろうそく1日約 _____ 本 アルコールランプ _____ 台 ( _____ )      マッチ1日約 _____ 本 その他の裸火(種類 _____ 数量1日約 _____ ) 電熱器 _____ 台      ホットプレート _____ 台 はんだごて _____ 台 その他の電気加熱器具(名称 _____ 数量 _____ 台)				

薬品類の使用状況

(次ページ記載の危険物, 準危険物, 劇物, 気体など。成果物についても記入してください)

1. 使用する	2. 使用しない	(いずれかに○)
薬品名	分類(次頁参照)	一日の使用量(わかる範囲で)

消防署記入欄

## \*火気・薬品類の使用について

### 消防署に届出の必要な器具・物質

火気，電熱器などの加熱器具などは消防署への届け出が必要です。また，引火性，発火性の物質，毒物や劇物指定の薬品なども届け出る必要があります。

(毒物・劇物の判別については，容器及び取扱説明書等で必ず確認してください。)

#### ○火気

ガスバーナー・トーチバーナー・ラボガス・ガスコンロ（カセットコンロ）・アルコールランプ・マッチ・ライター・チャッカマン・ろうそく・もぐさ・線香・電気コンロ・ホットプレート・電磁加熱器など

#### ○薬品類

・危険物・準危険物：

第1類 (酸化性固体)	塩素酸塩類・過塩素酸類・過酸化物・硝酸塩類・過マンガン酸塩類・亜塩素酸塩類・次亜塩素酸塩類・臭素酸塩類・ヨウ素酸塩類・二クロム酸塩類 (たとえば，過マンガン酸カリウム，次亜塩素酸ナトリウムなどの名称の固体試薬は，すべてこの分類に含まれます)
第2類 (可燃性固体)	黄リン・硫化リン・赤リン・硫黄 金属（マグネシウム・アルミニウム・銅・鉄・亜鉛等）の粉末やリボン
第3類 (自然発火性物質 及び禁水性物質)	金属カリウム・金属ナトリウム・炭化カルシウム（カーバイド）・リン化石灰・生石灰（酸化カルシウム）・スチレンモノマー・金属リチウム・金属カルシウム・炭化アルミニウム・プロピレンカーボネイト・アルカリ金属やアルカリ土類金属の水素化物
第4類 (引火性液体)	エーテル・アセトン・ベンゼン・ジクロロベンゼン・トルエン・ヘキサン・キシレン・アニリン・塩化アニリン・ピリジン・ニ硫化炭素・酢酸エチル・アルコール類（エタノール・メタノール・ナフトール等）・ガソリン・灯油・軽油・重油・機械油・酢酸エステル類・ギ酸エステル・エチルメチルケトン・クロロベンゼン・氷酢酸・植物油類（サラダ油・バターなど）・植物油がしみこんでいる紙や布・ラッカーパテ・しょうのう（カンフル）・ナフタレン・松脂・パラフィン・ゴムノリ
第5類 (自己反応性物質)	硝酸エステル・セルロイド類・ニトロ化合物・アゾ化合物・ジアゾ化合物・ニトロソ化合物・ジニトロソペンタメチレンテトラミン・ナトリウムアミド
第6類 (酸化性液体)	濃硝酸・濃硫酸・過酸化水素・クロロスルホン酸・無水クロム酸・過塩素酸・塩化チオニル・塩化スルフィン

・その他，過去の祭典で使用された毒物・劇物：

シアン化カリウム・水銀・アンモニア水・四塩化炭素・クロロフォルム・ホルマリン・酢酸エチル臭素・ヨウ素・濃塩酸・酢酸・水酸化ナトリウム・水酸化カリウム・塩化バリウム・塩化第一スズ・硫酸マンガン・硫酸銅・鉛丹・一酸化鉛

・可燃性，引火性気体：

水素・酸素

展示実験の解説書の原稿 (縮切：平成27年7月3日(金), 提出先：宮崎科学技術館)

○展示実験の解説書の原稿(様式5)の執筆要項

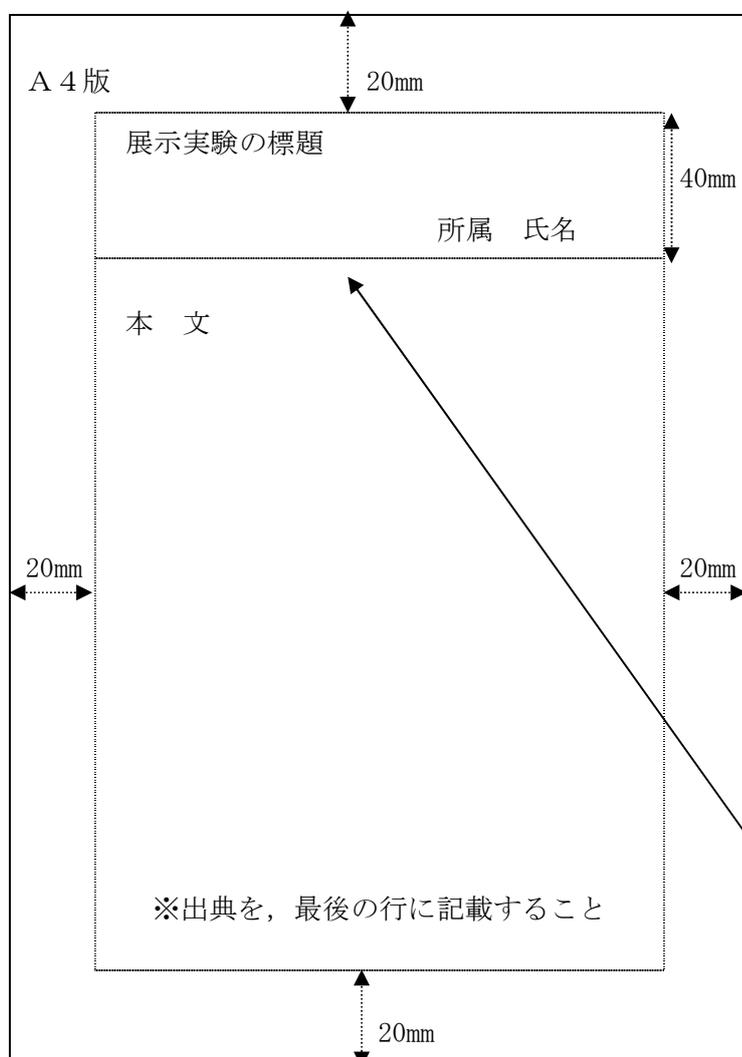
展示実験の解説書を下記の要領にて作成願います。印刷に際しましては、提出された原稿をそのまま使用しますので、パソコンやワープロ等で作成していただけるとよろしいかと思ひます。A4サイズで作成して下さい。図やイラストの配置等は著者にお任せいたします。

なお、他の書物等から借用する場合は、必ず出展を明記していただくようお願いいたします。

提出いただきます原稿は、そのまま印刷原稿にいたしますので、FAXでなく、郵送かメールの添付ファイル (MS-Word, 一太郎, PDF等)、もしくは直接、宮崎科学技術館にお届けいただきますようお願いいたします。実験解説書の印刷の関係も上、締め切り日：平成27年7月3日 (金)を厳守してください。締め切り日に間に合わない場合には、実験解説書に掲載できないことがあります。

(例)

(様式5)



※執筆要領

- ① 用紙はA4版とする。
- ② 上下左右の余白をそれぞれ20mmあける。
- ③ ページ上部に標題と所属・氏名を記入する。(約40mm)
- ④ 本文は41字×34行程度とする。(多少増えても、読みにくくなければ構いません。)
- ⑤ 原稿は1ブース、1ページに納めてください。

※ 予約が必要な場合や整理券等を配布される場合は、表題の下部に、その旨記述をお願いします。

\*著作権等に十分ご配慮ください。

\*「A4サイズ1枚」であれば、書式は自由です。

\*過去の大会の解説書の冊子があれば、ご参照下さい。